

放課後等デイサービスアスラボふくい支援プログラム

アスラボふくいでは、お子さまが将来、日常生活や社会生活を自立して円滑に営めるようにすることを目指し、本人支援の5領域（「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」）の視点を網羅した支援を行います。

【支援内容と5領域の関係】

会話を通して自己理解を深める支援

人間関係・社会性

- 会話を通じて、自分の気持ちや考えを整理し、他者に伝えるスキルを養う活動をおして、社会性の発達を促す。
- 自分と他者との関係性を理解することで、対人スキルや協調性を育てる。

認知・行動

- 自己理解を深めるプロセスをおして、思考を整理する力、自己の感情や行動を振り返る力などの認知能力の向上を促す。
- 自己の行動や感情を理解し、それに基づいた行動調整を実行できるよう支援する。

「工作」や「パズル」など、手先や脳を使う活動

運動・感覚

- 工作では細かい作業を通じて指先の動きを鍛え、パズルでは形や空間認識を刺激して感覚の統合を促す。
- 季節を意識した工作に取り組むことで季節への感覚を身につけられるようにする。

認知・行動

- 課題を解決するための思考力、判断力、集中力を養う。
- 問題解決能力や論理的思考力を育む。

食育・料理・おやつ作り

認知・行動

- 認知的プロセスを必要とする料理のような活動をとおして、その手順を考えたり、材料を準備したり、様々な道具を使ったりという複合的な処理能力を養う。
- 「なぜ?」「どうなる?」を考える活動をとおして、問題解決能力や探究心を育めるようにする。

健康・生活

- 料理を通じて生活に役立つ知識（調理器具の使い方・食材に対する知識）を学び、日常生活に応用できる力を身につける。
- 買い物活動を通してお金の使い方を身につけ生活に応用できる力を身につける。
- 清潔や衛生に関する知識（手洗いの重要性など）と日常生活に応用できる力を身につける。

言語・コミュニケーション

- 小集団で活動に取り組むことにより役割を決めたり、料理の段取りをしたりと他者と話をしながら進めていくことで、言語・コミュニケーション能力を養う。

感覚統合の運動

運動・感覚

- 子どもの触覚、前庭感覚（バランス感覚）、固有受容覚（体の位置や動きの感覚）を刺激し、感覚の処理や統合を促す。
- 活動をとおして、身体の動きや感覚を調整し、日常生活での適応力を高められるよう支援する。

人間関係・社会性

- 他者との協働活動をとおして、協力や順番待ちなどの社会性を育む。

健康・生活

- 感覚統合を通じて落ち着きや自己調整力を高めることで、生活全般の質の向上（健康管理やストレス軽減）を促す。

調べ活動（学校・仕事・資格など）

認知・行動

- 情報を収集し、情報を適切に処理し理解する力を支援する。
- 年齢に応じた行動ができるように自分の行動を見直し、主体的に行動できるように支援する。

人間関係・社会性

- 小集団で取り組むことによりコミュニケーション能力を向上させる。
- 役割を持って活動に参加することにより責任感を育てる。
- 友達の行動を見て、自分の行動について見直し社会性や対人関係の芽生えを促す。

言語・コミュニケーション

- 他者に自分の意見を伝える方法や調べた内容を人に伝わるようにまとめていくことで、言葉の発達や語彙力・表現力を育む。

ルールのある遊び

人間関係・社会性

- 小集団で活動することによりルールを確認し合ったり、順番を決めたり自分たちで意見を調整する力を身につけていく。
- カードゲームやボードゲームなどルールのある遊びに参加することで、周りとの調和を図りながら行動できるように支援する。
- 他者とのやりとりの中で自分を理解し、気持ちのコントロールできるよう支援する。

言語・コミュニケーション

- 他者とのやりとりの中で相手に理解してもらえるように伝えたり、自分の気持ちを表現したりすることができるよう支援する。

認知・行動

- 遊びをとおして形や色の違い・数字を認識する認知力向上を目指す。
- 他者の話を聞いて場に応じた行動ができるような認知力向上を目指す。

学習

認知・行動

- 漢字や熟語を理解し、意味を覚え、使えるよう支援する。
- 数の概念を理解し、四則演算ができるようにする。
- 学ぶ過程をとおして理解力、思考力、記憶力、問題解決能力の強化を目指す。

言語・コミュニケーション

- 語彙力を高める活動をとおしてコミュニケーション力を育む。

健康・生活

- 数が理解できることでお金や時間など生活に必要な力が身につくよう支援する。
- 料理の場面でも軽量や買い物などに活用でき、自分で生活できる力がつくよう支援する。

社会性・人間関係

- 宿題の期限を守れるよう計画を立てて行動することや、時間を意識して活動に取り組むことで社会のルールを意識し社会性の向上ができるよう支援する。
- 活動に取り組む中で自分の得意なこと・苦手なことを意識することで自己理解を深め、自分に合った活動方法を見つけていくことのできることで自己を調整できる力をつけていく。